

2. 消防施設

1. 消防機械

県下消防機関の有する主要な消防機械の現況は以下の表のとおりである。

消防本部・署については、5年前と比べると化学消防自動車が増加している一方、消防ポンプ自動車及び救急自動車が比較的伸びている。

また、消防団については、5年前と比べると全般的に減少している。

消防本部・署	消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車	化学消防自動車	救急自動車	救助工作車
平成24年	339	54	52	252	54
平成19年	332	60	54	247	52
増減	7	▲6	▲2	5	2

消防団	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ
平成24年	572	1,091	171
平成19年	612	1,103	172
増減	▲40	▲12	▲1

2. 消防水利

消防水利には、消火栓、防火水槽、井戸、河川等の種類がある。

消防水利の現況の推移を示すと、以下のグラフのとおりである。

5年前と比べると、総数で13,746（16.6%）増加している。

防火水槽（40 m³以上）にあつては5年前と比べると13.2%増加しているが、近い将来発生が懸念されている大規模地震等に備え、より一層の増加を図っていく必要がある。

